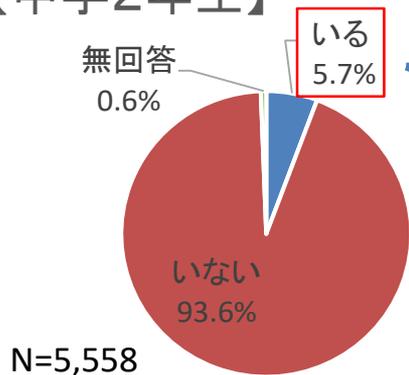


ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント①

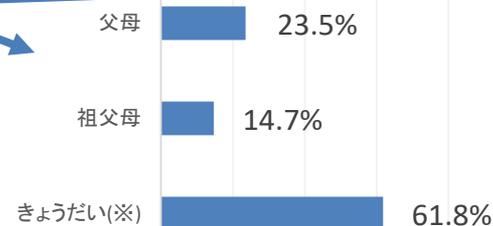
「ヤングケアラーと思われる子ども」の実態をより正確に把握するため、文部科学省と連携し、教育現場である学校や要保護児童対策地域協議会、全国の中学生や高校生に対して、実態調査を実施。

○ 世話をしている家族が「いる」と回答したのは、中学2年生が5.7%、全日制高校2年生は4.1%

【中学2年生】



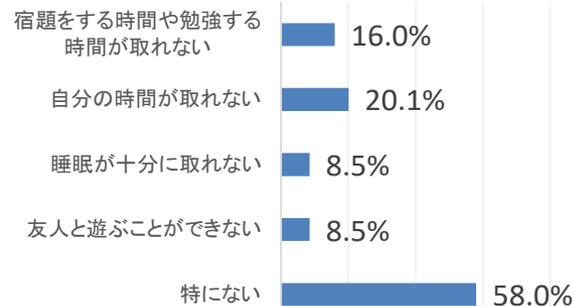
「いる」と答えた人のうち、
世話をしている家族の内訳（複数回答）



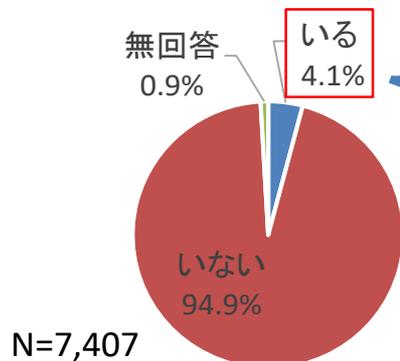
※きょうだいの状況（複数回答）

幼い73.1%, 身体障がい5.6%, 知的障がい14.7%,
精神疾患・依存症（疑い含む）4.6%, 精神疾患・依存症以外の病気0.5%

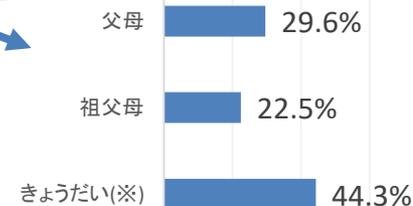
世話をしているために、
やりたいけれどできていないこと（複数回答）



【全日制高校2年生】



「いる」と答えた人のうち、
世話をしている家族の内訳（複数回答）



※きょうだいの状況（複数回答）

幼い70.6%, 身体障がい6.6%, 知的障がい8.1%,
精神疾患・依存症（疑い含む）1.5%, 精神疾患・依存症以外の病気0.7%

世話をしているために、
やりたいけれどできていないこと（複数回答）

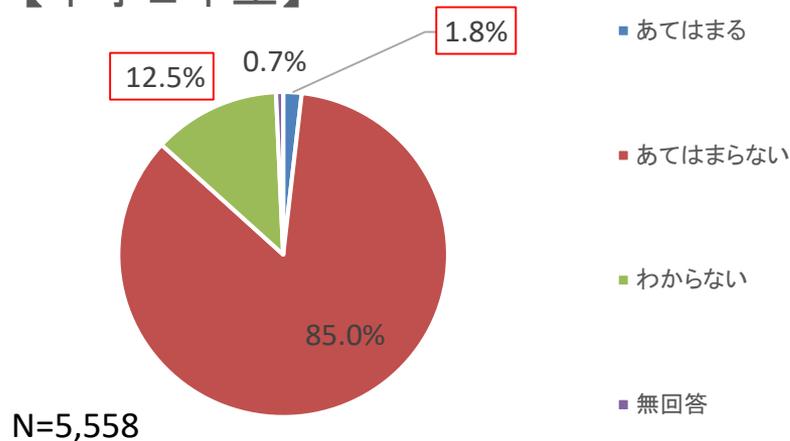


ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント②

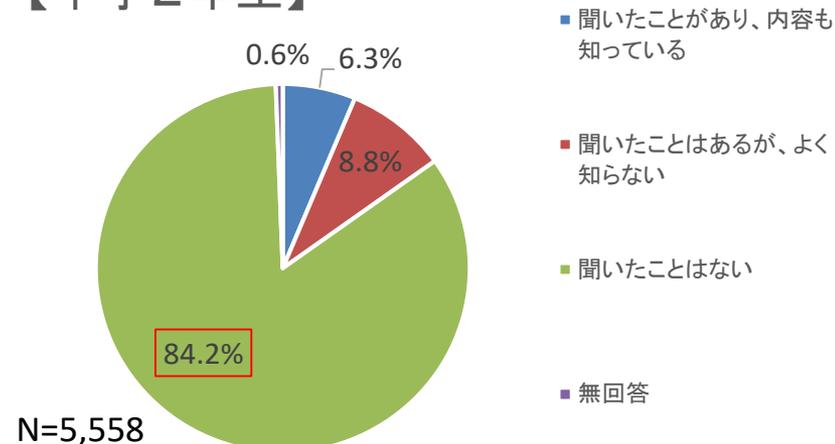
○ ヤングケアラーと自覚している子どもは約2%、わからないとした子どもが1～2割程度

○ ヤングケアラーの認知度は低く、「聞いたことはない」と回答したのは、8割を超えた。

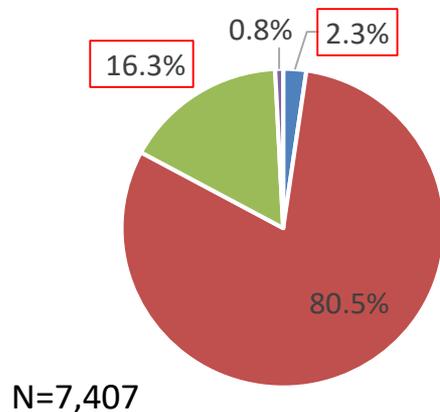
【中学2年生】



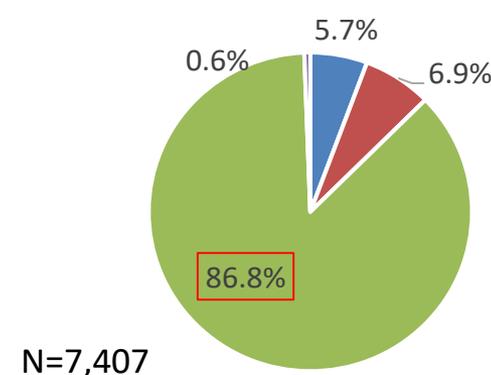
【中学2年生】



【全日制高校2年生】



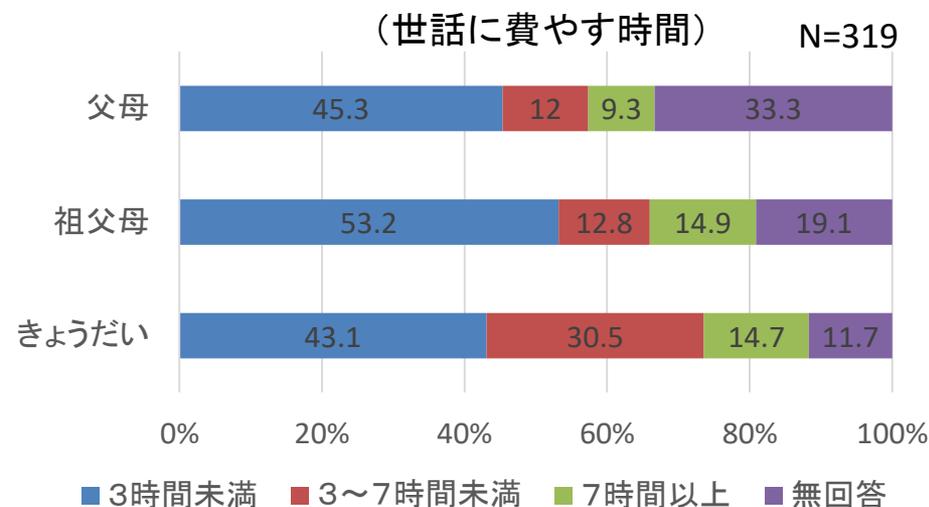
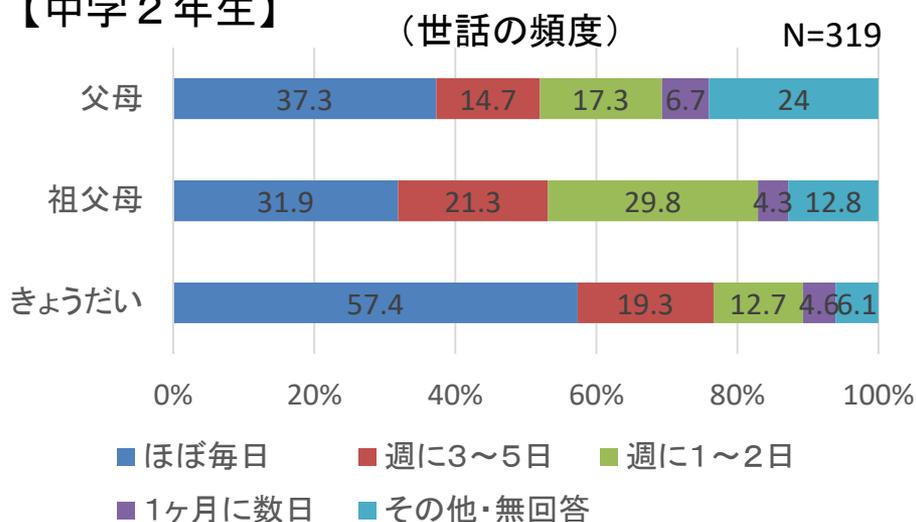
【全日制高校2年生】



ヤングケアラーの実態に関する調査研究のポイント③

- 世話の頻度について、「ほぼ毎日」が3～6割程度となっている。
- 平日1日あたり世話に費やす時間について、「3時間未満」が多いが、「7時間以上」も1割程度いる。

【中学2年生】



【全日制高校2年生】

